

女性活躍推進事業【岐阜県本巣市】

個別事業費	1,037 千円
交付金額	518 千円

地域の実情と課題

市のアンケート調査結果によると、出産や育児を契機に離職された女性にとって、正社員での再就職先を探すことは難しかったり、県などが開催するキャリアアップセミナーはハードルが高く感じ参加しづらいという声があった。一方、「社会とのつながりを感じたい」「少しずつ復帰したい」などの潜在的な意欲もうかがえたことから、復職のきっかけとなる支援の必要性を感じた。

事業の特徴

再就職を目的とするのではなく、再就職することを目指す気持ちを高めることを事業の基本方針に、これまでハードルが高いと感じられた「キャリアアップセミナー」とは一線を画し、体と頭を使うバランスボール講座と座学講座を組み合わせることによって、ターゲット層の女性が興味を持ちやすくし、またお子さんを同じ教室内でスタッフが面倒を見ることで、親子にとっても安心して参加できる講座環境を整えた。

事業の効果

講座終了後に実施したアンケートでは、参加者から、「再就職に前向きになれた。」「自分と同じ気持ちを持った仲間がいることを知ることができて気持ちに余裕ができた。」などの意見が寄せられ、また、地元企業からも、「当社でぜひ働いてほしい人材に会えた。」などの声が寄せれ、いずれからも講座の継続的な実施の声が寄せれた。また、4名の受講生から、受講を機に、就職活動をはじめだしたという報告も受けた。

目的・目標

20～40代の産後・子育て中の女性をターゲットに、「社会とのつながり」「復職のきっかけ」をテーマに、頭や体を使うバランスボール講座を5回、人生ビジョンを考えたり、地元企業との交流会など社会とのつながりのきっかけとなる座学の講座を3回の全8回開催し、再就職に向けて前向きな気持ちを持つ女性を育成した(定員20名に対して12名の申込、地元企業との交流会参加企業数 6社)。

連携団体

- ①本巣市男女共同参画推進懇話会
岐阜大学、連合自治会、人権擁護委員、消防団女性分団、教育委員会、子ども会育成協議会、民生委員児童委員連合協議会、商工会、農業委員会、その他市内企業等
- ②本巣市結婚・子育てアドバンス認定企業
市内認定企業22社(URL:
<https://www.city.motosu.lg.jp/0000000176.html>)

今後の課題

長年にわたり人々の中に形成された根強い固定的な性別役割分担意識などを解消していくには、男女共同参画に関する事業の継続的な実施と実施事業を広く周知し続けていくことが必須と考えられる。令和7年度は、事業開始から3年目となり、これまで以上に本事業の存在をアピールしていくとともに、講座受講後の受講生のフォローアップ体制についても、工夫を行っていく。



バランスボールを使った ファーストステップ講座(5回)

ファーストステップとして、産後ケアに取り入れられるなど、産後の女性特有のホルモンバランスの乱れや運動不足解消にもつながり、疲労からの回復を促す効果もあるバランスボール講座を実施し、個人の体づくりだけでなく、受講する”仲間”と気持ちの一体感も高めました。



座学 セカンドステップ講座(3回)

ファーストステップ講座でほぐれた体と心で、受講生同士、お互いの気持ちや考え、悩みなどを共有しながら、5年後の未来の人生ビジョンマップづくりに取り組んだり、地元企業との交流会などを通じて、再就職に向けて、自分のペースの「はじめの一步」を踏み出せるよう支援しました。